

平成30年9月21日(金) 13013号



## 株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043  
 大阪市北区天満2丁目12番3号  
 ヴィレッジリバー南森町3階E号  
 TEL (06) 6353-7831 (代表)  
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001  
 東京都品川区北品川1丁目9番7号  
 ツップルーム品川1015  
 TEL (03) 6869-9983 (代表)  
 EMail info@nikkankinzoku.co.jp  
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12ヵ月 72,000円(税別) データ12ヵ月 84,000円(税別)  
 6ヵ月 36,000円(税別) 配信料 6ヵ月 42,000円(税別)

### 8月銅市況動向

## トルコ不安・米中摩擦が要因

## 軟調な相場続く

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)がまとめた2018年8月の銅市況動向は、トルコ通貨急落や米中貿易摩擦を材料として、ロンドン金属取引所(LME)の銅相場は軟調な値動きが続いた。

LME銅相場は、1日に6,137.0ドルで開始。トランプ米政権が2,000億ドル相当の中国の輸入製品に25%の追加関税を検討、中国は600億ドル相当の米国製品への報復関税の発表を受け、米中貿易摩擦激化懸念が再燃。一方、中国の公共事業支出増の発表や、同国の7月消費者物価指数が予想を上回ったこと、チリ・エスコンディエダ銅鉱山での労使交渉による供給懸念から銅相場は上昇し、9日には6,247.0ドルをつけた。

中旬は、米国の新たな対ロシア経済制裁、トルコに対する鉄鋼・アルミニウムの追加関税の発表を受けた貿易摩擦への懸念が強まった。トルコ通貨リラの急落を受けたドル高の進行、中国の1~7月の固定資産投資が過去最低の伸び率だったことを受け、15日には5,843.0ドルまで下落。その後、トランプ米大統領が米連邦準備制度理事会(FRB)の利上げを批判したことによるドル安の進行、米中貿易協議の開催に対する期待感から一時的に相場は持ち直したものの、米中の追加関税措置発動により23日には5,910.5ドルの水準となった。

下旬に入ると、北米貿易協定(NAFTA)の再交渉を

めぐる米・メキシコ間の合意により、世界的な貿易摩擦に対する懸念が緩和し、銅相場は6,000ドル台を回復した。その後、トランプ大統領が中国への追加関税の意向を示したことにより再び下落し、6,019.0ドルで月をまたいだ。

8月の需給動向では、資源世界大手のBHPピリトンが、2018年度の銅生産量を175万3,000トン、2019年度の生産見通しを167万5,000トン~177万トンと発表した。コンゴ民主共和国のコンゴ中央銀行は、同国の2018年上半年期銅生産量が、前年同期比7.8%増の59万7,249トンと発表した。

### 非鉄8団体懇談会

#### 新旧製造産業局長招き開催

「EVの普及に業界不可欠」井上局長

「マルチマテリアル化へ協力できる業界に」杉崎会長



井上局長(上)と杉崎会長

非鉄金属業界8団体(日本電線工業会、日本神鋼協会、日本アルミニウム協会、日本アルミニウム合金協会、新金属協会、軽金属製品協会、日本マグネシウム協会、日本チタン協会)は18日、経済産業省の新旧製造産業局長を招き東海大学校友会館(東京・霞が関)で、合同懇談会を開催した。

今年7月に就任した井上宏司・製造産業局長は、挨拶の中で業界界のトピックとして「電気自動車の普及には車体の軽量化と革新的なバッテリー開発が鍵。ともに非鉄金属業界の協力が不可欠」と述べ業界への期待をにじませた。

また、主催者を代表して、日本チタン協会の杉崎康昭会長(大阪チタニウムテクノロジー社長)が登場。「マルチマテリアル化技術の開発には素材間の協力体制が必要」と、共に協力できる非鉄金属業界の構築に支援を呼びかけた。当日の参加者はおよそ180人。随所で歓談が弾む会場は熱気で溢れていた。

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売  
 亜鉛ドross・滓買入

## 大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃4-14-3  
 電話 06-6471-2531~5  
 FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花2-4-5  
 電話 03-3618-2351~2

## 古河電池

## 環境対応バッテリーなどを紹介

## 第5回〔関西〕二次電池展～バッテリー大阪～出展

古河電池は、9月26日(水)から28日(金)までの3日間、インテックス大阪(大阪市住之江区)で開かれる二次電池に関する見本市「バッテリー大阪」に出展する。

展示製品は、「産業部門」が◇再生可能エネルギー用「20年寿命電池」◇鉛蓄電池用BMU/小容量サイクルユース鉛蓄電池 FC-Sシリーズ◇3USEバッテリー FCR型蓄電池◇リチウム電池内蔵直流電源装置(100V系)◇移動式リチウムバッテリーユニット◇FG型蓄電池(小型自家発給動用、UPS用等)。FG型蓄電池は新発売につき、その他製品は参考出展となる。

「自動車部門」は、次世代の環境対応バッテリーとして、◇ECHNO[エクノ] IS UltraBattery◇ECHNO[エクノ] EN◇マグネシウム空気電池 高出力モデル◇マグネシウム空気電池「MgBOX」、「MgBOX slim」といった製品ラインアップをそろえる。



古河電池ブースのイメージ

再生エネルギーに関して蓄電池に期待される役割に対応する形で、今回のバッテリー大阪で同社はサイクルユースの産業鉛蓄電池や自動車用電池の照会に力を入れる考えだ。

同社ブースは、インテックス大阪3号館の二次電池ゾーン内、コマ番号は13-26。

## 三井金属

## ダイヘンと業務提携

## 銅合金粉末の特許活用

三井金属(西田計治社長)は、ダイヘン(大阪市淀川区、田尻哲也社長)との間で銅合金粉末による積層造形に関する技術を利用して行う事業に関する業務提携契約を締結した。

提携内容は、◇銅合金粉末に関してダイヘンが保有する発明特許の通常実施権を三井金属がライセンス供与を受け、銅合金粉末の製造・販売を実施◇ダイヘンが保有する銅合金積層造形法・造形物、銅合金粉末に関する発明特許を使用している事業者から、三井金属が使用料を回収◇ダイヘンが保有する銅合金積層造形法・造形物に関する発明特許を使用している、または使用する事業者に対し、三井金属が製造する銅合金粉末をダイヘンが推奨。

三井金属は、ダイヘンが以前から保有する銅合金積層

造形法・造形物、銅合金粉末に関する発明特許をベースに、自社の粉体制御技術と安定した量産技術、更に両社の事業分野のノウハウを有効活用し、事業領域・収益の拡大を実現できると判断した。

ダイヘンは、変圧器やパワーコンディショナーなどの電力機器、溶接機、産業用ロボット、プラズマ発生用電源、クリーン搬送ロボットなどの製造販売を手掛けている。近年は、FEMS(工場用エネルギー管理システム)関連製品のラインアップ拡充や、溶接以外の各種ロボットアプリケーションの充実、高効率ワイヤレス給電システムの開発と市場投入に力を入れている。

## 日刊金属

6カ月：36,000円

## 定期購読料

12カ月：72,000円

(税別)

故銅・銅滓  
アルミ原料

高価即金買入

—ご照会を乞う。

## 森下商店

大阪市西成区南津守7-12-46

TEL (06)6659-5577~8

FAX (06)6659-5579



ペルー：Toromocho銅鉱山、拡張プロジェクトは25%進捗

2018年9月18日付け地元紙によると、Chinalco社は、2018年初頭に建設開始したToromocho銅鉱山拡張プロジェクトは計画通り進行しており、現在25%の進捗状況であること、2021年に拡張が完了する見込みであることを明らかにした。本プロジェクトには1,300百万US\$を投資し、これまでに整地の移動や基礎工事、重機による作業等を実施している。

また、本鉱山における現在の操業は粗鉱処理量117,000tpdで安定している一方、報告すべき新たな探鉱プログラムは行われていないとコメントした。

# 8月のアルミ概況および9月の見通し (2)

橋本アルミ株式会社 橋本 健一郎

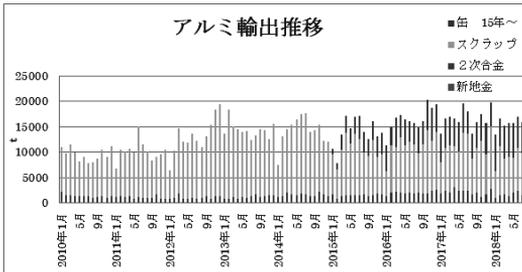


## ◆貿易指標

### 輸出

財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金が前年比+155%の380トン、2次合金が-45.6%の1,220トン、スクラップが-28%の8,155トン、アルミ缶が+44.2%の6,217トンとなっている。

輸出	5月	6月	7月
新地金	417 t	668 t	380 t
前年比	+325.1%	+711.3%	+155%
2次合金	1624 t	1686 t	1220 t
前年比	-29.1%	-29.1%	-45.6%
スクラップ	6874 t	8485 t	8155 t
前年比	-11.6%	-25%	-28%
缶	6802 t	6128 t	6217 t
前年比	+19.3%	+5%	+44.2%

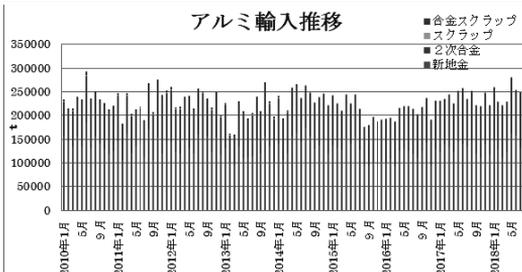


出典 財務省貿易統計

### 輸入

輸入では、新地金が前年比-1.1%の13万2,257トン、2次合金が+16.9%の11万7,099トン、スクラップが+229.4%の1,522トン、合金スクラップが-0.1%の3,745トンとなった。

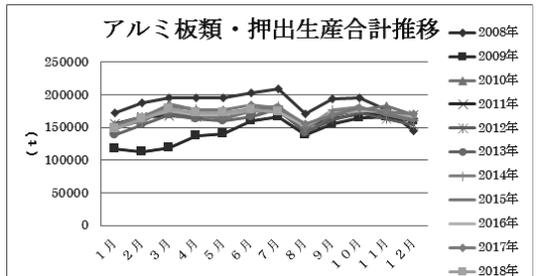
輸入	5月	6月	7月
新地金	16万2829 t	15万8708 t	13万2257 t
前年比	+12.4%	+11.9%	-1.1%
2次合金	11万7437 t	9万4415 t	11万7099 t
前年比	+10%	-18.3%	+16.9%
スクラップ	1065 t	1103 t	1522 t
前年比	+54.1%	+122.8%	+229.4%
合金スクラップ	5137 t	3268 t	3745 t
前年比	+32.3%	-2.8%	-0.1%



出典 財務省貿易統計

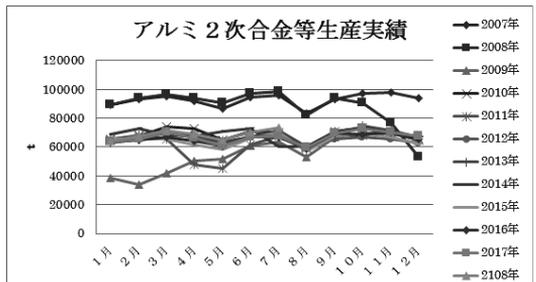
## ■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比-2.9%の17万4,684トン。



出典 日本アルミニウム協会

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金同合金地金等生産実績は、前年比+8.1%の7万3,198トンであった。



出典 日本アルミニウム合金協会

## ■国内概況まとめ

**【自動車】** 6月の四輪車生産台数は82万2,272台で、前年同月比-4.4%となり4か月ぶり減少。輸出は38万370台で前年同月比-7.4%。

**【販売】** 8月の国内自動車販売台数(軽を除く)は23万3,358台で前年比-0.2%。1か月ぶり減少。内訳は乗用車+2.1%、貨物-10.7%、バス-45.4%。生産販売共にマイナス。これが続くかどうか今後に注目。

**【住宅】** 平成30年7月の住宅着工戸数は82,615戸。前年同月比0.7%減となった。また、季節調整済年率換算値では95.8万戸(前月比4.7%増)となった。

住宅着工の動向については前年同月比で2か月連続の減少となっており利用関係別にみると、前年同月比で持家は増、貸家・分譲住宅は減となった。

**【アルミ圧延・押出生産数】** 板類・押出生産合計は、前年比-29%、7か月連続のマイナス。板類が106,068トン、-45%で7か月連続のマイナス。押出類は68,616トン、-05%で2か月連続のマイナス。

【4面に続く】

【アルミ圧延・押出品生産数】板類・押出生産合計は、前年比-2.9%、7か月連続のマイナス。板類が106,068トン、-4.5%で7か月連続のマイナス。押出類は68,616トン、-0.5%で2か月連続のマイナス。

【アルミニウム二次合金同合金地金等生産実績】前年比+8.1%、7万3,198トンで10か月連続のプラス。出荷は+8.6%、7万3,353トンで10か月連続のプラス。

【輸出】アルミ新地金が前年比+155%の380トン。

二次合金が-45.6%の1,220トン。スクラップが-28%の8,155トン。アルミ缶が+44.2%の6,217トン。

【輸入】アルミ新地金が前年比-1.1%の13万2,257トン。二次合金が+16.9%の11万7,099トン。スクラップが+229.4%の1,522トン。合金スクラップが-0.1%の3,745トン。

(次号に続く)

## 故銅市況

20日入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場の直物前場売値が、前日の6,003.00ドルより54.00ドル高の6,057.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,079.00ドルより10.50ドル高の6,089.50ドル。カーブ取引は前日の6,085.50ドル～6,086.00ドルより35.00ドル～35.50ドル高の6,120.50ドル～6,121.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（9月限）は、前日の271.20より0.20セント安の271.00セント。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（10月限）は、前日の4万8,620元より1,040元高の4万9,660元。

20日の東京為替市場TTSレートは、前日の113.30円より0.08円の円安ドル高で1ドル=113.38円。NYカーブLME先物比は27.50ドル安。20日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,057.00ドル。この値と20日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の72万円より6,000円高の72万6,000円。この日、電気銅建値は72万円に据え置かれた。

### 為替動向

19日から20日午前の外国為替市場で、円相場は1ドル=112円台前半の小幅な値動きとなった。

20日の東京外国為替市場、午前9時の気配値は、前日の17時時点から横ばいの1ドル=112.32円～112.35円。

19日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は、前日の同時刻比から横ばいの1ドル=112.30～112.40円

だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.07円の円高・ドル安、1ドル=112.24円～112.34円で取引を終了した。

米中貿易摩擦をめぐり、両国が協議を模索しているとの観測が流れ、対立は一気に激化しないのではないかとの見方から、ニューヨーク市場ではひとまず過度な警戒感が後退した。低リスク通貨とされる円が売られた一方、取引の手掛かりに乏しく、ドル円は小動きが続いた。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、112.16円～112.40円だった。

東京市場では、ドルが対新興国通貨で下げる中、連れる形で円買い・ドル売りが見られた。一方、投資家のリスク回避の姿勢が和らいでおり、午前の取引ではもみ合う展開となった。

### 故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が595～600、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは576～581、並銅は515～520、込銅（高品位＝約97%）は475、セパは494～499。コーペルは要り用筋で425、それ以外は417ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋380、それ以外363～388どころの値頃。並青銅鋳物削粉は447～452どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が578～583、上銅新くずが565～585、普通上銅が532～542、2号銅線が538～548、並銅が503～504、込銅（90-93%）が462～429、下銅が304～354、セパが461～471、コーペルが417～457、黄銅棒地が413～418、黄銅削粉が321～368、黄銅ラジが372～380、交叉ラジが325～336、黄銅銅鋳物が362～369、送りが166～181、上青銅鋳物が457～473、並青銅鋳物が449～462、上青銅鋳物削粉が454～473、並青銅鋳物削粉が447～451どころ。

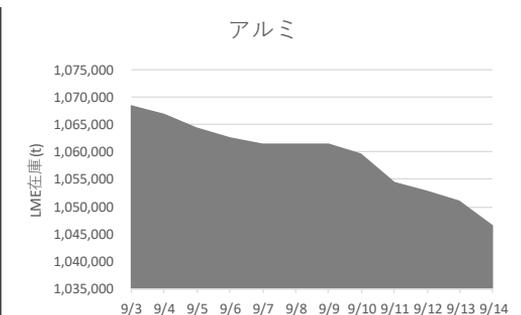
アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス  
各種非鉄金属屑

## 株式会社 原田 商店

代表取締役 原田 靖章

〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30  
TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

### LME認定倉庫在庫量推移 9月3日～9月14日（現地）





**LME銅は続伸 先月末の水準に回復**  
**カーブ取引も続伸 COMEX銅相場は小幅反落 SHFE銅相場は続伸**  
**LME非鉄相場はまちまち 亜鉛は続伸、2営業日でおよそ5%の急騰**

20日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,002.50ドルより54.25ドル高の6,056.75ドル。3か月物も、前日の6,025.50ドルより58.50ドル高の6,084.00ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の21万4,000トンより約3,000トン増のおよそ21万8,000トン（丸め込み）。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（9月限）は、前日の271.20セントより0.20セント安の271.00セント。カーブ取引は、前日の6,085.50ドル～6,086.00ドルより35.00ドル～35.50ドル高の6,120.50ドル～6,121.50ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（10月限）は、前日の4万8,620元より1,040元高の4万9,660元。

**錫は続伸**

LME錫相場の直物は、前日の1万9,025.00ドルより70.00ドル高の1万9,095.00ドル。3か月物も、前日の1万8,962.50ドルより50.00ドル高の1万9,012.50ドル。

**鉛は反落**

LME鉛相場の直物は、前日の2,045.75ドルより21.25ドル安の2,024.50ドル。3か月物も、前日の2,053.00ドルより12.50ドル安の2,040.50ドル。

**亜鉛は続伸**

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,346.50ドルより52.25ドル高の2,398.75ドル。3か月物も、前日の2,364.00ドルより56.25ドル高の2,420.25ドル。

**アルミは反落 アルミ合金は下落 北米特殊アルミ合金は続落**

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,011.50ドルより31.00ドル安の1,980.50ドル。3か月物も、前日の2,040.50ドルより21.50ドル安の2,019.00ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,505.00ドルより15.00ドル安の1,490.00ドル。3か月物も、前日の1,560.00ドルよ

非鉄金属全般  
 銅 淳・新棒コロ  
**誠実対応の高田商店**  
 代表者 高田才吉  
 〒544-0001 大阪市生野区新今里7丁目11-11  
 ☎ 06-6753-1643  
 FAX 06-6753-4545

り20.00ドル安の1,540.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,529.50ドルより3.00ドル安の1,526.50ドル。3か月物も、前日の1,580.00ドルより20.00ドル安の1,560.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、ほぼ横ばいのおよそ103万5,000トン。

**ニッケルは続伸**

LMEニッケル相場の直物は、前日の12,315.00ドルより152.50ドル高の12,467.50ドル。3か月物も、前日の12,387.50ドルより180.00ドル高の12,567.50ドル。

**アルミ二次合金メーカー買値実勢値**  
 1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

**関東地区(9月後半)**  
 2S=194円～202円、63S=191円～195円、アルミホイール(1P)=186円～191円、ビス付サッシ=140円～144円、エンジンコロ=146円～148円、込合金(機械铸件)=142円～144円、缶プレス(ソフト)=109円～123円。

**関西地区(9月後半)**  
 2S=189円～197円、63S=187円～191円、52S=199円～203円、印刷版=192円～197円、アルミホイール(1P)=175円～180円、ベースメタル=199円～204円、機械铸件=146円～151円、ダライ粉=118円～120円、ビス付サッシ=141円～146円、缶プレス=124円～129円。

LME公式値（単位：ドル）／9月19日（現地）

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,056.75	19,095.00	2,024.50	2,398.75	1,980.50	1,490.00	1,526.50	12,467.50
	前営業日比	54.25	70.00	▲ 21.25	52.25	▲ 31.00	▲ 15.00	▲ 3.00	152.50
先物	公式値	6,084.00	19,012.50	2,040.50	2,420.25	2,019.00	1,540.00	1,560.00	12,567.50
	前営業日比	58.50	50.00	▲ 12.50	56.25	▲ 21.50	▲ 20.00	▲ 20.00	180.00



海外非鉄金属相場

(9月20日 入電・現地 9月19日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前買, 場売, 後買, 場売. Rows include: 銅 A G, 錫 H G, 鉛, 亜鉛 S H G, アルミ H G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

NY コメックス相場

出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows include: 9月限, 10月限, 11月限, 12月限, 1月限, 前日比, 出来高.

採算価格

フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows include: ドル・円, T T S, 113.38, +0.08.

フリー・マーケット

米国生産者価格

Table with columns: 銅(セント/ポンド), 銀(セント/オンス) H H社. Values: 1428.1

NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.4, 257.4, 353.35, 357.35

ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.6%(トン), ビスマス99.99%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.97%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(MTU単位), タンタル鉱石30-35%(ポンド). Values: 1202.3, 8500, 4.70, 1.35, 290, 14.50, 8.00, 29.50, 34.00, 2600, 340, 100

KLTM錫(Mドル/キロ、出来高トン)

Table with columns: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ. Values: 78.33, 78.36, 42, 36, 18900, 18940, 3.7600, 3.7600, 4.1444, 4.1374, 2365, 2368, 2146, 2152

LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows include: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊AL合金, ニッケル.

コメックス銅在庫(トン)

Table with columns: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛. Values: 178,782, 1,299, 134,566, 1,485, 853,749, 19,406, 37,239, 3,071, 16,406, 441

NYカーブ

Table with columns: 銅, アルミ. Values: 6086.00, 6087.00, 2029.00, 2030.00, 4.00, 1.00

上海相場 トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込

Table with columns: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛. Rows include: 10月限, 11月限, 前日比, 出来高.

非鉄金属製品相場

(9月20日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	950	980	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	960	990	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	1120	1180	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	1150	1170	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	810	850	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	920	980	<b>軽圧品(仲値)</b>	大阪	東京
銅条1.5×100	930	980	アルミ箔0.007ミリ	945	935
銅線0.9ミリ	1010	1040	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	930	980	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	1210	1220	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	795	820	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	820	840	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	975	1030	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	1390	1310	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	1340	1360	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	650	690	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	680	720			
四角棒	710	750	<b>貴金属(一般小口向け)</b>		
鍛造用	690	730	白金(グラム)	◎ 3298	
ネーパル	790	830	パラジウム(グラム)	◎ 4109	
高力	790	830	金(グラム)	◎ 4735	
黄銅線6ミリ	1025	1070	銀(キログラム)	◎ 58530	
黄銅平角線ロール仕上	1230	1290			
黄銅条1.5×100	785	830	<b>レアメタル輸入価格</b>	7月通関 (CIF)	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1820	1800	金属ケイ素(99.99%未満)	242	
〃 バネ用0.3ミリ	2040	2010	モリブデン酸化物	2123	
リン青銅棒25ミリ	2070	2080	タンタル	52613	
リン青銅線3ミリ	2230	2210	マグネシウム	268	
洋白板一般用1.0ミリ	2670	2620	コバルト	10322	
〃 バネ用1.0ミリ	2880	2840	インジウム	29583	
<b>減摩合金</b>	9月18日改定		<b>銅合金地金</b>	9月19日発表	
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)	大阪	東京
1種	2630		BC 1種	775	—
2種	2565		2種	950	—
3種	2495		3種	990	—
4種	2205		6種	830	—
5種	2120		7種	865	—
7種	885		YBSC 3種	685	—
8種	800		LBC 3種	955	—
9種	715		PBC 2種	1010	—

合金鉄	7月輸入単価 (CIF)
フェロマンガン2%以上炭素含有	141
〃 その他	172.6
フェロシリコン55%以上	167
フェロクロム4%以上炭素含有	168
フェロモリブデン純分60%以上	2048
フェロバナジウム	5824
フェロニッケル33%未満	452.5
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

非鉄金属材料相場

山元建値 電気銅 720(19) 金 4376(20)  
 () 実施日 電気鉛 292(3) 銀 52,870(20)  
 電気亜鉛 298(18) 錫(99.99%) 3,550(3)

キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (9月20日調べ) インジウム大口(99.99%) 40,000 ~ 44,000(1)

非鉄原料 (炉前材) 1トン以上外税持込	大阪 東京		地 金		大阪		東京	
	仲間相場	仲間相場	高値	安値	高値	安値	高値	安値
1号銅線	638	635	電気銅	691	686	693	688	
2号銅線	578		電気亜鉛	289	284	289	284	
上銅(新切)	610	609	蒸留亜鉛	277	272	277	272	
雑ナゲット	548	550	ダイカスト亜鉛2種	229	223	229	223	
並銅	557	555	再生亜鉛(98%)	199	194	199	194	
下銅	530	526	電気鉛	290	280	290	285	
銅削粉	533	530	再生鉛1号	270	263	270	263	
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号	273	258	273	258	
新切黄銅セバ	441	457	錫1号	2300	2250	2300	2250	
コーベル	429	434	アンチモン	1150	1100	1150	1100	
黄銅棒地	419	424	ニッケル(メッキ用)	1600	1550	1600	1550	
黄銅削粉	406	407	コバルト	9400	9100	9400	9100	
並黄銅	423	429	セレニウム	4500	4300	4500	4300	
黄銅ラジエター	302	300	ビスマス	1350	1250	1350	1250	
交叉ラジエター	365	350	カドミウム	500	450	500	450	
黄銅鑄物	424		水銀	1800	1700	1800	1700	
山送り	202		アルミ地金99.70%	260	256	262	258	
上青銅鑄物	501		アルミ二次地金99%	207	202	207	202	
並青銅鑄物	490	496	〃 90%	200	195	200	195	
上青銅鑄物削粉	495	490	アルミ二次合金ADC12	316	311	319	314	
並青銅鑄物削粉	482	480	鑄物用C2BS	341	336	343	338	
新切リン青銅(伸銅)		642	青銅合金地金3種	945	935	1015	1005	
〃 (鑄物)	617		〃 6種	825	815	845	835	
リン青銅削粉	518	512	ハンダ錫60%	1815	1775	1840	1810	
新切洋白(電子材)	536	518	〃 50%	1605	1555	1630	1600	
新切亜鉛	118	118	〃 40%	1455	1395	1415	1385	
ダイカストくず	99	99	減摩合金2種	2550	2520	2555	2525	
亜鉛ドロス	98	88	〃 4種	2190	2165	2195	2165	
上鉛	104	102	〃 7種	855	805	855	805	
電池巢鉛ケース込	40	37	ステンレス・特金 18-8ステンレス 新切			55	60	
活字鉛	99	96	〃 ダライ粉			40	45	
新切アルミ1級	158	161	13クローム 新切			18	18	
新切サッシ1級	159	160	ハイス 9種			130	130	
新切合金1級	149	150	〃 ダライ粉			—	—	
機械鑄物1級	114	114						
ビス付サッシP	100	103						
合金削粉P	◆83	86						
込ガラP	81	83						
カン・バラ	◆71	78						